



小牧山

夏号

編集・発行：小牧山発行委員会
小牧市春日寺 1-1
電話：0568-76-2191
内線 4055

※今後の編集の参考にするため
ご意見・ご感想をお待ちしています。



Facebook

twitter

ホームページ

豪空軍との空中給油適合性確認試験

4月



3月29日から4月27日までの間、小牧基地は空中給油適合性試験のために来日したオーストラリア空軍の軍人約30名と空中給油機KC30Aを受け入れました。本試験の成功により豪空軍の空中給油機から航空自衛隊のF-15J/DJへの給油が可能になる見込みです。

1輸空隊では出入国手続き、航空機の燃料補給、貨物の搭載、車両による人員輸送を支援しました。滞在間の防衛交流として、隊司令表敬、5術校学生との英語を用いた交流、銃剣道見学、404SQとの姉妹飛行隊の交流を行いました。また、お互いの運用について理解を深めることを目的に、豪空軍のKC30Aと空自KC767に相互に搭乗しました。

今回の試験の支援を通して、日豪相互の運用性向上と人的・文化的な交流を通して相互理解を深めることができました。



スーダン共和国邦人等輸送



スーダン共和国の情勢に鑑み、同国に滞在する邦人等の輸送準備に係るジブチ共和国における待機等のため、4月21日、小牧基地所属のK/C-130H×1機が、翌22日にKC-767×1機が、それぞれジブチ共和国に向け出発しました。

さらに24日、K/C-130H×1機が任務に必要な装備品等の追送のため、ジブチ共和国に向け出発しました。同日、KC-767は所要の任務を終え、無事に帰隊しました。

28日、希望する全ての在留邦人の退避を確認したことから、防衛大臣より当該邦人等の輸送の終結が命ぜられ、30日にK/C-130H×1機が、5月10日にはもう1機のK/C-130Hが無事帰隊しました。

フィリピン共和国空軍受託学生卒業式



上級警戒管制員課程

兵器管制幹部課程

第5術科学校は、令和4年10月から航空自衛隊初となるフィリピン空軍からの受託学生4名を迎え入れ、兵器管制幹部課程及び初級・上級警戒管制員課程の一員として教育を開始しました。本年4月に各課程の教育を終了し、無事卒業となりました。各課程において、日本人学生と共に学び、共に起居し、苦楽を共にする等、交流を深めたことにより、今後の日比両国関係、防衛協力を更に発展させることができました。

防衛・基地モニター修了式及び委嘱式



令和4年度モニター

令和5年度モニター

4月7日、小牧基地は令和4年度基地モニター修了式及び令和5年度防衛モニター、基地モニター委嘱式を行いました。基地司令、副司令が参列し、基地司令から委嘱修了状及び委嘱状をお渡ししました。式の終了後は基地司令及び副司令と写真撮影を行い、その後新旧モニターによる懇談会が行われ、年間の活動等に対する意見交換が行われました。

今年度はコロナ過の活動制限がほぼ解除されたことから、モニターの方々には今後1年間各種基地行事や研修等に参加して頂き、様々なご意見を頂く事になります。どうぞよろしくお願いいたします。

警備犬 ギンタ号 転入

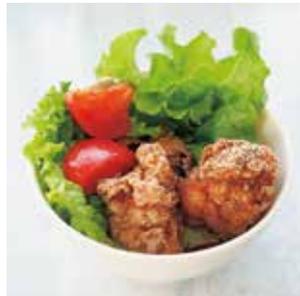


皆さんこんにちは!僕はギンタ!5歳の元気いっぱいな警備犬だワン!4月5日に築城基地からお父ちゃん(ハンドラー)と一緒に来たんだ!全然知らない犬ばかりで最初は不安だったけど、みんな優しくしてくれて今はすごく仲良しだワン!僕が最初小牧基地に来た時はもう何もかもが怖くてずっとビクビクしてたんだけど、お父ちゃんがずっと寄り添ってくれたから徐々に心を開けたんだ!だから僕はおもちゃとかよりもお父ちゃんのが大好き!今は国際救助犬V段階(初級)というものを持ってんだけど、これからもどんどん訓練してもっとお父ちゃんのことを喜ばせるんだ!みんなも応援よろしくね!

小牧基地空上げ認定第2号店

4月20日、小牧基地空上げ提供店認定第2号店が誕生しました。提供店は基地厚生センター2階、皆さんおなじみの「喫茶マイアミ」です。

昨年度行われた「小牧基地新オリジナル空上げトーナメント」で優勝した「甘辛スパイシー」と惜しくも準優勝の「小牧の舞(米粉)」の夢のコラボ。さらにはマイアミさんの調理技術により、衣はサクッと、それでいて中はしっかりと下味のついたジューシーな絶品空上げです。看板メニューになること間違いなし!皆さん一度ご賞味あれ!



通信隊と有志による庄内緑地リレーマラソン奮闘記



去る4月23日(日)通信隊と有志にて第48回庄内緑地リレーマラソンに参加しました。歴史あるこのマラソンは、1チーム6名で30kmを襷で繋ぎ、発起人の呼びかけで集まった4チーム(総勢24名)で(S)精強さの誇示、(K)広報活動、(Y)大会に参加する隊員、隊員家族、自衛隊OB間の融和団結のSKYをスローガンにオリジナルTシャツを作成、着用し大会に臨みました。

スタートの号砲と同時に張り詰めていた緊張感から解放された33チームの勇者たちは一斉にスタートラインを駆け抜けます!しかし、いざ始めれば、終始笑い声と走り終わった後の嗚咽に包まれとても和やかな大会になりました。WBCばりの滑り込み、盛り上げ番長のほふく前進の珍プレーも炸裂し、こんなにもみんなで大声で笑い合ったのはいつぶりだろうと感慨深ささえあり、とても有意義な大会となりました。

結果は… 見事、優勝を勝ち取ることができました。他の3チームも上位に食い込み、令和5年度の体力測定に向けて弾みをつけることにも成功しました。これを皮切りに令和5年度も積極的にいろいろな地域活動に参加していきたいと思えます!

日米友好祭 横田基地フレンドシップフェスティバル 2023 支援



5月



5月20日及び21日の両日、東京都北西部に所在する横田基地で開催された「日米友好祭 横田基地フレンドシップフェスティバル2023」に小牧基地からC-130Hが参加しました。当イベントは毎年来場者が10万人を超える人気のイベントです。当日は米軍機による飛行展示、屋内外のステージでの音楽演奏や各種パフォーマンス等のステージイベント、その他、会場内ではアメリカンフードの販売等があり、見どころ満載、お腹も一杯、大いに盛り上がりました。航空自衛隊からはF-15J、F-2Aの戦闘機その他、T-4練習機、T-4ブルーインパルス、C-2輸送機、U-680A飛行点検機、CH-47J輸送ヘリコプター等が地上展示に参加し、航空自衛隊のPR活動にも貢献することができました。

最終日の夜には花火も打ち上がり、今年も大盛況の中、閉幕を迎えることができました。

災害派遣（患者空輸）



5月25日、今年度初の災害派遣（患者空輸）要請があり、機動衛生ユニットを搭載したC-130Hによる緊急患者空輸が実施されました。

患者さんを迎えるため早朝に小牧基地を羽田空港へ向け出発。時間通りに患者さんを乗せた緊急車両が羽田空港の駐機場場に到着し、機動衛生隊員や搭乗員も手伝い慎重に患者さんを速やかに機動衛生ユニットのベッドに移し離陸しました。患者空輸には適さない天候でしたが、ベテランパイロットの卓越した操縦により安定した飛行で目的地の伊丹空港に到着し、患者さんを医療機関に引き渡して、小牧基地へ帰投し任務を終了しました。

患者様のご家族へのお見舞いを申し上げるとともに患者様の1日も早い御回復をお祈りします。



令和5年度春の小牧基地交通安全運動



小牧基地は5月11日から20日の間、愛知県警第1交通機動隊・小牧警察署・交通安全普及所等の部外機関の協力を得て、「令和5年春の小牧基地交通安全運動」を実施しました。

特に運動の目玉の一つでもある、部外機関による車両の実技講習においては、車両利用時における遵守事項や事故・違反事例の紹介、機動隊による操縦展示など、運転の際に役立つ知識・技術を実地に体験することができ、参加隊員からの反響も大きなものでした。

小牧基地は全国でも群を抜いて交通量及び交通事故の多い愛知県に属しており、交通安全について常に注意を払っておかなければなりません。

そこで、交通事故を未然に防止できるよう、普段から基地内において交通ルール遵守の意識を習慣付けるように呼び掛けております。今後も基地安全班は、部外機関・小牧基地各部隊等と連携し、安全啓発活動に勤しんで参ります。

今日も一日ご安全に!



防衛・基地モニター 第1輸送航空隊研修



5月26日、今年度新たに委嘱された防衛及び基地モニターに対し、第1回目の活動として、第1輸送航空隊の研修が行われました。警備犬の訓練展示、消防小隊の見学、隊員食堂での体験喫食の後、C-130H及びKC-767航空機を見学しました。普段は見る事の出来ない訓練展示や航空機等大型装備品に大興奮のモニターの皆様達。今後も小牧基地所在部隊研修や他基地研修等、多数のイベントが控えています。航空自衛隊及び小牧基地の事を少しでも多く知って頂ければ幸いです。



Twitter フォロワー5万人達成企画 ～体験搭乗～



小牧基地公式Twitterのフォロワーが5万人を超えたことを記念して、5月13日にフォロワーの方限定によるC-130Hの体験搭乗が行われました。Twitterによる募集の結果、総応募数は、なんと6千件超え!!たくさんの方にご応募いただきました。抽選により選ばれた小さいお子さんから、年配の方まで幅広い年代の64名にC-130Hの魅力をお伝えすることができました。当日の天候はあまりよくなかったのですが、予定通りフライトすることができ、当選者の方は終始興奮していました。

また、このような機会を作れるように広報班一同頑張っていきます。これからも小牧基地の応援よろしくお祈いします。



災害派遣(航空機動衛生隊による患者空輸)50回達成

6月



6月7日、航空機動衛生隊は、沖縄県からの要請による災害派遣(患者空輸)として、第3輸送航空隊のC-2に機動衛生ユニットを搭載して那覇基地から福岡空港への搬送任務を実施しました。帰投してホッと一息ついたところに千葉県からの要請があり、6月10日には、第2輸送航空隊のC-2に機動衛生ユニットを搭載し、海上自衛隊下総基地から小松基地への搬送任務を実施しました。

これらの搬送で、航空機動衛生隊が平成18年10月に発足してからの搬送実績は50件となりました。搬送中にトラブルを起こすことなくここまで積み重ねて来られたことを、これまでの搬送に関わって頂いた全ての方々に深謝いたします。どれだけ回数を重ねても、搬送される患者さんやそのご家族にとっては特別な1件であることを忘れず、これからも患者さんに安心安全な航空搬送を提供すべく、訓練、研鑽に努めて参ります。今後ともご支援、ご協力を宜しくお祈い申し上げます。

航空支援集団司令官訓練視察



航空支援集団司令官 森川空将が、6月14日「令和5年度即応機動事前訓練」視察のため小牧基地に来基されました。

司令官は訓練視察に先立ち、航空機動衛生隊に赴き、患者搬送50回の任務完遂を成し得た隊員らと一緒に写真撮影をするとともに、当該部隊の必要性及び重要性、そして隊員個々の強い責任感と高い技術により患者搬送任務を成し得ていると訓示を述べられました。

また、司令官は、燃料給油野外訓練場において、給油装置を使用した航空機への燃料補給等の訓練を視察され、その際、真摯に訓練に取り組む隊員に対し、本訓練の位置づけ及び重要性について訓示されるとともに、訓練参加者を労いました。

最後に小牧基地所在の航空支援集団隷下部隊長との会食、その後の懇談を経て、小牧基地を後にされました。



防衛・基地モニター 岐阜基地研修



6月22日、防衛及び基地モニターは、第2回目の活動となる岐阜基地研修を行いました。当日はあいにくの悪天候のため、航空機の機動訓練の見学は中止になりましたが、午前中は岐阜基地が一望できる展望見学から始まり、第15高射隊の発射地区及び、補給物品を自動で管理する第2補給処の自動倉庫を見学しました。昼には、隊員食堂での体験喫食をし、午後からは、F-4及びF-15戦闘機を見学し、その後、広報資料館及び厚生センターを見学しました。特に小牧基地では見ることができない戦闘機を間近で見ているときが一番興奮している様子でした。また、初その他基地研修であったため、モニターの皆様たちは、それぞれの研修先でより活発に質問を行うなど、積極的に理解を深めていました。その熱気のおかげで、午後からは雨が段々上がっていききました!今後も多くの部隊研修を通して航空自衛隊のことにについて知っていただきたいと思えます。



小牧商工会議所 小牧基地オリジナル空上げ試食会



6月30日、小牧商工会議所に向けた「小牧基地オリジナル空上げの試食会」を行いました。本試食会は小牧基地で開発したオリジナル空上げ「甘辛スパイシー米粉空上げ」を世に広めるため、まずは基地近隣の小牧商工会議所の皆様のご意見を頂戴したく開催されました。初めに業務隊長から商工会議所の皆様に対して説明等が行われ、その後隊員食堂にて試食しました。

試食後の意見交換は非常に盛り上がり、今後の展開を期待させる試食会となりました。



7号隊舎前の整備



小牧基地は、中部航空施設隊第2作業隊(小松基地)の支援を受けて正門南側の7号隊舎前の整備を行っています。中部航空施設隊は本部を入間基地に置き、3個の作業隊を入間、小松、百里基地にそれぞれ配置して方面隊隷下の基地及び分屯基地の施設整備等を行います。また、有事における滑走路被害を想定して滑走路被害復旧能力の向上を目的とした訓練を行っています。小隊長以下、隊員の整齐とした活躍により、今年夏の完了に向けて見る見るうちに整備されています。

照り付ける日差しの中でも暑さに負けず、隊員が声を張る姿や器材を使って精密に作業する姿は活気があり、第2作業隊のハツラツとした雰囲気を表すような現場でした。

第401飛行隊 部隊マーク変更

6月30日、第401飛行隊の部隊マークが新しくなりました。

様々な意味を込めた渾身の出来となっております！

新しくなった部隊マークを身に纏い第401飛行隊はこれからも日々の業務に邁進してまいります。

【部隊マークの由来】

- C-130Hの愛称であるハーキュリーズ(HERCULES(ヘラクレス))は、ギリシャ神話によると「ネメアーの獅子」を倒し、その獅子を纏うことで不死を授かったとされており、隊員も「ネメアーの獅子」を纏うことで飛行安全を確保
- 尾張・名古屋のシンボルである「金のしゃちほこ」と同じ金色を採用
- さらに、獅子の顔を愛知県の形、背中部分を伊良湖の荒波をイメージした図柄とし工夫しました。
- 獅子の強くたくましく、そして威厳がある様は、いかなる困難にも立ち向かい任務を完遂する飛行隊の姿勢を表現



High visibility



Low visibility